

様式第8号の記載例

平成23年4月から平成24年3月までに交付された交付金受給総額を記載

申請書の賃金改善実施期間を記載

①	平成21年度分交付金受給総額	〇〇〇〇〇〇〇〇 円
②	交付金による賃金改善実施期間	平成21年 月 ~ 平成22年 月
③	介護職員常勤換算数(②の期間の総数)	△△. △ 人
④	介護職員に支給した賃金額(②の期間の総数)	●●●●●●●● 円
⑤	介護職員一人当たり賃金月額(④÷③)	◇◇◇◇◇◇ 円
⑥	②の期間において実施した賃金改善の概要 (改善した給与の項目及びその金額等について具体的に記載すること)	<p>例1 一時金として3月に介護職員〇〇名に対し、一人平均◎◎◎円を支給した。</p> <p>例2 介護職員〇〇名に対し、平成21年××月から平成22年▲月までの4ヶ月間、□□手当を月額平均◆◆円支給した。</p> <p>例3 介護職員〇〇名に対し、平成21年××月から平成22年▲月までの4ヶ月間、給与を月額平均☆☆円改善し、時間外手当も一人平均★★円改善した。</p>
⑦	⑥に要した費用の総額(法定福利費等を含む)	◆◆◆◆◆◆◆ 円
⑧	他都道府県の事業所等の介護職員の賃金改善の原資として充当した額	×××××××× 円
⑨	⑦のうち、他都道府県の事業所等が交付を受けた交付金を原資として改善した額	〇〇〇〇〇〇〇〇 円
⑩	賃金改善所要額(⑦+⑧-⑨)	●●●●●●●● 円
⑪	交付金余剰額(返還額)(①-⑩)	☆☆☆☆☆☆ 円
⑫	介護職員一人当たり賃金改善月額(⑦÷③)	▼▼▼▼▼▼ 円

A:すべての介護職員の介護に従事した時間数(②の賃金改善実施期間中の総時間数)
 B:②の賃金改善実施期間の日数
 C:就業規則等に定められた、常勤者が週あたり勤務すべき労働時間数
 $A \div B \times 7 \text{日} \div C \times 12 \text{月} = \text{介護職員常勤換算数(小数点第2位以下切り捨て)}$

法定福利費等は含まない

常勤換算数ではなく、実際に支給した実人数ベースで記載

積算の根拠資料を添付(参考様式等を活用)

⑧、⑨に該当がある場合は、添付書類2を添付

①-⑩がプラスの数となる場合は、その金額を記載、マイナスとなる場合は「0」と記載